

# ウンカ情報第2号

平成23年8月2日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 1 セジロウンカの発生状況

JPP-NETのウンカ類飛来予測システムによると、本年は本県へのウンカ類の飛来に適した気象条件が昨日までに8回出現しました。7月下旬の本田調査では、県内全域の52ほ場で成虫や幼虫が捕獲されました。しかし捕獲数はやや少ない状況(表1)で、飛来数は少なかったと思われます。

表1 セジロウンカの本田調査結果(平成23年7月下旬調査 単位:頭)

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落とし	0.27(0.60)	1.18(2.48)	1.45(3.08)
捕虫網による20回振り	0.65(1.74)	0.28(2.47)	0.93(4.21)

注1) ( )内数値は平年値(平成13~22年の平均)

注2) 払い落とし調査は105ほ場、20回振り調査は106ほ場で実施したものの平均

## 2 トビイロウンカの発生状況

県内の予察灯で成虫は誘殺されておらず、本田調査でも未確認です。JPP-NETによると他県でも6月12日広島県呉市(1頭)、6月21日和歌山県那智勝浦町(1頭)、7月7日宮崎県延岡市(1頭)と、飛来数は少ないようです。しかし、今後の気象条件によっては飛来して被害が発生する可能性がありますので、ほ場での発生に注意して下さい。

## 3 ヒメトビウンカの発生状況

7月下旬現在、かなり発生量が多く、特に捕虫網による20回振り調査では、成幼虫合計で40頭と平年の4倍以上の捕獲数となっています(表2)。通常夏季に多発生することはまれですが、長期持続型の箱施薬剤を施用していないほ場では、今後の発生動向に十分注意してください。

表2 ヒメトビウンカの本田調査結果(平成23年7月下旬調査 単位:頭)

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落とし	0.39(0.40)	4.53(1.27)	4.92(1.67)
捕虫網による20回振り	4.41(2.07)	35.78(7.13)	40.19(9.19)

注1) ( )内数値は平年値(平成13~22年の平均)

注2) 払い落とし調査は105ほ場、20回振り調査は106ほ場で実施したものの平均